

事業番号	10 02 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
		実施期間	S33 ～	E-mail	ringyo @ pref.nagano.jp	

1 現状と課題

・県内の森林・林業を支える教育・試験研究機関は少なく、充実を図る必要があり、また、森林・林業を普及・啓発し、持続的な森林育成や発展を目指す必要がある。
 ・林業大学校においては、質の高い人材の育成を図るとともに、林業分野を目指す学生の確保を図るために、学校の魅力を高めていくことが必要である。

2 事業目的

森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのために、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①林業大学校における次代の担い手の育成
 - ・林業の専門的知識・技術を身につけた、農山村地域にあつて指導的な役割を果たす林業技術者の養成
 - ・林業大学生が、安心して学業に専念できる、生活維持のための資金の給付
 - ・学校衛生基準を遵守し、安心して教育が受けられる環境の整備
- ②林業総合センターの試験研究・開発の促進
 - ・林業・木材産業関係者の要請に応じられる研究研修施設の充実及びコンプライアンスを重視したセンターの管理運営
 - ・森林を育てる基礎となる優良な苗木の生産、多様な森林の育成管理技術、多発する森林病虫獣害への対策、災害防止機能の高い森林づくり等に関する試験研究及び技術指導
- ③森林づくり及び林業に対する普及啓発
 - ・林業普及指導職員を配置し、森林所有者等に対して森林施業等に関する技術・知識の普及指導
 - ・体験学習の森、学習展示館を活用した、地球温暖化や自然環境に対する普及啓発

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	林業大学校卒業生で就職した者の林業関係分野への就業率	%	88.9	90.0	↗	90.0	→	80.0	達成	R5年度は、林業就業者の拡大を図るため前年度見込値80%の維持を目標とする	
②	林業総合センターの研究成果の発表件数	件	80	98	↗	98	→	80	達成	林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすため、前年度並の80件の発表を目指す	
③	体験学習の森の講座定員充足率	%	94.0	92.0	↘	90.0	↘	85.0	達成	県民参加の森林林業講座の中身の充実を図ることを目指す	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★林業産出額(うち木材生産)	百万円	2020 (R2)	5,209	2021 (R3)	7,413	2022 (R4)	8,790	2027 (R9)	7,170
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規林業就業者数	人/年	2021 (R3)	110	2022 (R4)	119	2023 (R5)	147	2027 (R9)	120
5-3①	高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	17,410	207,362	△ 60,323	164,449	96,388	157,385	84.1
R4年度	56,626	153,294	△ 33,048	176,872	73,528	143,925	85.1
R3年度	472,716	262,292	7,554	742,562	675,493	195,813	86.1

事業番号	10 02 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課

7 主な取組実績と成果

① 林業大学校における次代の担い手の育成

- ・令和5年度に新生20名を迎え、カリキュラムに沿った適正な学校運営を実施したことに加え、実践的且つより時代に即した教育のために、外部評議員とともにカリキュラムの見直しに着手
- ・8者に給付金を交付したことに加え、卒業後に林業分野から退職することを未然に防ぐための取組について、外部評議員とともに議論し、令和6年度から卒業後のフォローアップ充実化等を実施することとした
- ・男子寮に係る工事が全て完了したことに加え、令和7年度の教室エアコン導入に向けた設計委託を実施した

② 林業総合センターの試験研究・開発の促進

- ・適正な主伐と計画的な再造林に向けた省力化技術や優良苗木の生産、喫緊の課題である松くい虫防除対策、獣害防除対策などの試験研究・技術開発を実施
- ・マツタケ等の人工栽培技術、ナメコの消費拡大に向けたナメコの味の見える化、林地残材の精油利用など特用林産物の試験研究・技術開発を実施
- ・大径材の利用促進等に向けた木材の乾燥技術やウッドチェンジの促進のための高品質木材の開発などに関する試験研究・技術開発を実施

③ 森林づくり及び林業に対する普及啓発

- ・各地域に配置された林業普及指導職員が、森林所有者、林業事業者、市町村等の関係者に対し、新たな知見等を踏まえ地域全体の森林の整備・保全や持続的な森林経営等に必要な技術・知識の普及・指導を実施
- ・体験学習の森や学習展示館を活用し、県民を対象とした森林教室などの機会を通じて、森林づくりの重要性などに関する普及啓発を実施

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	林業大学校卒業生で就職した者の林業関係分野への就業率	R4年度推移	↗	R5年度推移	→	達成状況	達成
三林大対抗伐木選手権や日本伐木チャンピオンシップ等への参加、インターシップや校外研修で林業現場を見学する機会を創出するという県の取組の結果により、林業関係分野へ就職する卒業生が多く、令和5年度は目標値の80%を上回った。							
指標②	林業総合センターの研究開発の発表件数	R4年度推移	↗	R5年度推移	→	達成状況	達成
研究発表や機関誌への投稿等の機会を捉え積極的に研究成果を発表した結果、目標値の80件を上回った。							
指標③	体験学習の森の講座定員充足率	R4年度推移	↘	R5年度推移	↘	達成状況	達成
HP、新聞、広報誌等の媒体で講座のPRを行ったことや、参加者の意見等を踏まえて講座内容の改善・充実を行った結果、新たな関心呼び寄せることができ、充足率は目標値の85.0%を上回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

① 林業大学校における次代の担い手の育成

森林、林業への期待が高度化及び多様化していることから、産業界が求める担い手の育成に加え、近年、各県において林業大学校の新設が相次いでいることから、学生確保を図るために、学校の魅力を高めることが必要。
また、給付金受給者の林業分野からの退職を防ぐ取組についても継続した検討が必要。

② 林業総合センターの試験研究・開発の促進

試験研究で得られた成果や知見について、県民や関係者等に広く周知することが必要。
また、試験研究に一定の期間を要する課題や新たな課題に対応するため、引き続き必要な試験研究・技術開発を進める必要がある。

③ 森林づくり及び林業に対する普及啓発

森林づくりやそれを担う人材の育成、山村の活性化と県民の森林・林業への理解、参加を促すため、新たな知見等を踏まえた森林・林業に関する技術、知識の普及や森林施策の指導を継続する必要がある。

(2) 事業改善の方策

① 林業大学校における次代の担い手の育成

林業大学校カリキュラムの見直しに係る協議を継続し、より時代に即した実践的なカリキュラムとすることにより、学校の魅力向上及び産業界が求める担い手の育成を図る。
また、林業分野からの退職を防止するために、希望者への面談実施や相談場所の周知といった卒業後のフォローアップを継続する。

② 林業総合センターの試験研究・開発の促進

試験研究で得られた成果や知見について研究発表等の機会を通じて幅広く発信するとともに、森林を育てる基礎となる優良な苗木の生産、多様な森林の育成管理技術、きのこ・山菜・精油等の特用林産物の生産技術、新たな技術を活用した木材製品の開発等に関する試験研究・技術開発を引き続き推進する。

③ 森林づくり及び林業に対する普及啓発

地域ごとの課題やニーズに対応した林業普及指導職員による技術・知識の普及・指導を継続するとともに、体験学習の森や学習展示館を活用した森林・林業への県民の理解、参加を促すための普及啓発を実施する。

事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	-------------------------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	林業大大学校関係事業		129,133 千円	91,004 千円	63,119 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業大大学校費	直接	林業の専門的知識・技術を身につけた、農山村地域にあって指導的な役割を果たす林業技術者の養成のため、先端技術を活用した専門的、体系的な授業を実施 卒業生20名の林業分野への就職率：90%（18名）		
2	林業就業支援事業	補助金	林業就業者確保のため、林業大大学校の学生が研修に専念できるよう生活資金を給付 給付対象者：8名、給付額：8,467千円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	研究開発の推進及び普及関係事業		66,680 千円	52,921 千円	94,266 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業改良普及事業	直接	・主伐、再造林研修、架線集材研修等の開催 ・林業普及指導員の研修、林業後継者育成のための指導 林業普及指導員研修実施回数：9回、広報誌による普及啓発		
2	林業総合センター管理費	直接	・林業総合センター施設の管理運営業務の実施 構内各施設の照明LED化 一式		
3	林業総合センター試験研究普及費	直接	・森林・林業に係る多様な課題解決のために、技術開発・試験研究を実施 試験研究課題数（国交・県単）：17課題		
4	林業総合センター体験学習の森事業費	直接	・森林・林業に関する県民への普及啓発のため、公開講座等を開催 森林教室：18回、森の勉強会：1回、林業体験講座：12回		